

いつくしまじんじゃ 厳島神社

所在地：洲本市 本町



厳島神社 本殿

出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP



御神幸(ごしんこう)

出典：一般社団法人淡路島観光協会 HP

厳島神社は、かつて洲本港沿岸に鎮座し、船の航行を見守る神として信仰を集めていました。現在は、洲本市街地のほぼ中央に鎮座し、周辺の商店街や地元の人たちから「弁天さん」の愛称で親しまれ、縁結びや交通安全、安産などのご利益で多くの信仰を集めています。

境内には、家老稲田家の守護神・稲本神社の碑や、庚午事変を背景とした船山馨の小説「お登勢」を記念した「お登勢の碑」が立っています。

また、秋の例大祭は 島内一の弁天祭として知られ、10 万人を越す人々が訪れます。祭り最後の「残り福」の日、白装束の奉仕隊が白布に包まれた御神体を背負って町中を練り歩く「御神幸(ごしんこう)」は日本の奇祭の一つです。

【景観の特徴】

- 自然が作りだす景観
- ✓ 歴史が作りだす景観
- 生活・文化が作りだす景観
- 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC 下車、国道 28 号を東へ。塩屋交差点を右折して県道 76 号線に入り、栄町二丁目交差点を左折、栄町二丁目東交差点を右折して南に進む。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図